





# 令和5年度 青少年育成研究大会

## テーマ

### 依存と夢と現実と

～これからの「生きづらさ」にどう手を差し伸べるか～

## グループワーク について・・・

- 大人と青少年（中高生）が、共にグループワークを行い、発表・意見交換を行います。
- グループワークには、大学生（サイバー防犯ボランティア）も参加し、一緒に青少年のことを考えます。

## <コーディネーター>

仁愛大学人間学部コミュニケーション学科 准教授 安彦 智史 氏  
(一社)日本情報モラル推進機構 理事長 竹村 順吾 氏

## <特別参加>

県内中高生のみなさん 10名程度  
大学生のみなさん（サイバー防犯ボランティア） 10名程度

## 次のような事例について、みんなで考えます。(例)

- ・今、依存しているもの（こと・人）は何？
- ・1日のインターネット利用時間は、実際は何時間くらい？
- ・「依存」の基準って何？
- ・身近な人が依存になったらなんて声をかける？



皆様のご参加をお待ちしています。

問合せ：青少年育成福井県民会議事務局  
Tel. (Fax.) 0776-20-0527  
E-Mail seisyounen@fukuikenminkaigi.jp

主催 福井県青少年総合対策本部・(公財) 青少年育成福井県民会議  
協力 福井県警察本部